

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 2010春闘要求書の回答等について
 交渉日時 平成22年4月23日(金) 15時00分～17時00分
 交渉場所 庁内8階大会議室
 交渉出席者 当局側 久保田市長 平本人事監 梅垣市長公室長 宇野次長 星川人事課長
 蒲原主幹 石田主幹 山田給与係長
 組合側 田中執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計9人

概要	要
組合の主張	<p>10 春闘要求に関する回答交渉等を行った</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平成21年度において、年休取得が平均10日未満の所属はいくつあるのか。また、女性職員の22時以降の深夜時間外勤務の状況および翌日0時を超えた勤務は。 ② 女性職員が翌日0時を超える深夜時間外勤務をすることを、所属長は把握していたのか。帰りの交通手段は確保されているのか。人事課は、状況をしっかり把握すべきである。 ③ 平成21年度の時間外勤務の時間数が、前年度実績と比べて約2,800時間減ったが、5年前との比較ではまだ2万時間増えている。前年比較で減ってはいるが、もともと前年は大幅増。さらに改善へ努力必要。平成21年度の前半での比較では増えていた。後半に減った分析は。 ④ 外部職場で夏季休暇とあわせても年間の休暇取得が少ない所属がある。年休取得が0日の職員は几人か。 ⑤ 時間外勤務をなくし、年休を取得できる職場づくりが大切である。定数増によって時間外勤務が減少するという職場については、そうした対策を含め検討すべきである。 ⑥ 人間ドック・脳ドックの補助について、京都府内各市の状況を把握しているのか。早急に改善すべきである。 ⑦ 京都地方税機構へ派遣されている職員の勤務条件で、休憩室がない等の状況を把握しているのか。
当局の主張	<ol style="list-style-type: none"> ① 平成21年度において、年休取得が平均10日未満の所属は13課ある。また、女性職員の22時以降の深夜時間外勤務の状況は、25課で36人と前年度より増加しており、翌日0時を超えた勤務は4件あり選挙業務や夜間工事、またシステムの臨時対応等と認識している。 ② 所属長が把握していたか早急に確認する。 ③ 詳しい分析はできていないが、平成21年度の前半に臨時的な時間外勤務が多かったものと認識している。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">④ 5人で、全て管理職である。⑤ 今後、要因については分析を進め、対処していきたい。⑥ 京都府内の各市の状況を踏まえ、前向きに検討していく。⑦ 京都地方税機構へ派遣されている職員の勤務条件については、今後も状況を把握し、改善すべき点があれば引き続き要望していく。 |
|--|--|